

研究研修部だより

全日盲研 熊本大会

7月25日(木)
から26日(金)
に熊本城ホールにて、第99
回 令和6年度
全日本盲学校
教育研究大会・熊本大会が開催されました。



研究主題

「社会の変化に対応した視覚障害教育の変革」
～Society5.0へ 新たな時代を見据えた指導のあり方～



全体会

演題:「挫折からの復活:信念の力
と人生の転機」

講師:岩本光弘氏(ライフコーチ・ブ
ラインドセーラー)

～講師プロフィール～

岩本さんは、1966年熊本県天草市生まれ。
残存していた視力を13歳頃から失い始め、1
6歳で完全に視力を失う。
熊本県立盲学校専攻科理療科を卒業後、奨学
金を得て2年間アメリカ留学。
筑波大学附属盲学校で14年間勤務。
2006年にカリフォルニア州に移住。
2013年に辛坊治郎氏と共に太平洋ヨット横
断に挑戦するもクジラに衝突されて失敗。
2016年にトライアスロンハーフアイアンマン
完走。
2019年に世界初「ブラインドセーリング」での
無寄港太平洋横断に成功。
現在、アメリカ在住。

～講演内容～

◆熊本県立盲学校理療科で出会った先生によ
って人生が変わった

・アマチュア無線を教えてくれた先生

「盲学校にとじこもるな！外にはもっと多く
の人がいる！！」の言葉。アマチュア無線を通
して、盲学校以外の人との交流が始まった。外
国の電波を受信し、英語で話がしたいと思う
ようになった。

・YMCA(英会話)に通わせてくれた先生

テキストを1枚ずつ点訳してくれた。なかなか
自分の思いが英語で伝わらず、くやしい思い
もした。留学後も働きながら英会話を続け、ア
メリカ人の妻と出会い、米国へ移住すること
になった。米国では視覚障害者は鍼灸師の資格
がとれず、アパートを借りるのにも苦労したが、
信念をもって取り組んだ。

◆挫折にも意味がある

・2013年の太平洋ヨット横断失敗後、バッシ
ングにさらされ、絶望の中にいたが、「この挫
折にも意味がある」と思い直した。海と仲良
くなるために泳ぎ始め、トライアスロンに挑戦
するまでになった。完走で自信がつき、2019年
の成功につながった。

・生徒が挫折していたら、その挫折に意味づけ
をする手伝いをしてほしい。生徒の「ドリーム
キラー(Dream killer)」ではなく、「ドリーム
サポーター(Dream supporter)」になって
ほしい。

第100回 東京大会は令和7年
7月31日(木)8月1日(金)に国
立オリンピック記念青少年総合
センターで開催されます！

